

VOL.136
2021.6.1

BUNTO

ぶんと通信



伊賀の土のかっこいい部分
見て欲しい

陶芸作家

谷本

たかし
貴さん

TOPICS

伊賀の土のかわいい部分見て欲しい

伊賀市三田の坂を少し上った池のほとりにその陶房がありました。来た方向を振り返ると伊賀市中心地方面に向け景色は広がり、伊賀上野城を正面に見ることが出来ます。ここは、しばらく使ってなかった祖父の施設を約4年前によりみがえらせて、自宅兼陶房として使用しているそうです。作品が生み出される地場所としての雰囲気伝わってくるように感じました。

貴さんは1978年生まれ。祖父、両親も伊賀焼の作家である家系の長男。父親の谷本景氏の陶芸に打ち込む姿に影響を受け京都陶工高等技術専門学校で陶芸を学びました。伊賀焼に携わること、地元伊賀に生まれたものが頑張らないと文化的に死んでしまうのではないかと、自分がやらなきゃ駄目なのではないかと思っていたが、貴さんにはそれが出来る環境があった。(陶芸を志すことで家族にも安心してほしいという気持ちもあつたとか)ただ継げばオッケーというところではなく、伊賀焼の個性や良いところを受け継ぎながら作品を作りたいと常に思っているそうです。

26歳の時に1年ほどイタリアへ渡った。伊賀



焼のルーツである古伊賀の桃山時代は外に開かれた時代であり、そのカウンター(対峙していた)であろう文化圏であるヨーロッパ(イタリア)の文化に触れてみたかった。イタリアでは各地の陶芸作家や彫刻作家の現場や作品などを見て回った。

貴さんの作品は、ひとつひとつが自然に伊賀の大地から生え生まれ視覚化・立体化してきたかのように。伝統的なイメージにアレンジが加わった作品たち：と書けば奇抜にも聞こえるが、手になじみ機能性もすばらしい。そして見て楽しむ、見て驚いていたことも機能のひとつだと語っていました。

6月18日(金)〜27日(日)、史跡旧崇広堂で倉貫徹×谷本貴二人展「石と陶」が行われる。貴さんの陶器と、奈良県在住造形美術家である倉貫徹氏の二人による共同作品が披露される。倉貫氏より打診があり、一緒だと面白いものが見せられるのではないかと感じて快諾した。内容についてはミステリアスというか作家本人にもどうできあがるのか分からない、ジャズのアドリブのようなところもあり、完成していくところが作家的にも楽しみにしているそうです。

二人展への抱負を聞くと「伝統的・クラシカルな印象のある伊賀焼ですが、伊賀の土のかわいい部分見て頂きたい!伊賀焼のイメージを壊したい」とのことでした。

(文 広報事業委員 下猶 茂樹・写真 山口 貴史)

クラシック
コラム

チェロとの出会い

五十代半ば、語学のために通っていたカルチャースクールで講座案内の冊子を見つけ、思わずパラパラめくり、「老後に楽しんでやれるもの」を探していました。あれこれ見ているうちに「チェロやってみようかな」という思いになったのです。

その時は何の脈絡もなく選んだのですが、東京での学生時代にピエール・フルニエの演奏する気品のあるシューベルトのアルペジオ・ネソナタや、堤剛のバッハの無伴奏組曲の演奏を聴きに行き、感動したことが心のどこかにあったのかも知れません。

程なくチェロを買ってレッスンに通い始めました。ひと月経った頃、新聞に、「伊賀でオーケストラ結成・団員募集」との記事が載っていました。練習の機会が増えるとの思いで「初心者ですが入団したいです」と連絡。「どうぞ」との一言をいただきオケの一員となりました。ところがまだ弓の基本的な動かし方もままならないのに手元に届いたのはベートーヴェンの交響曲第一番などの楽譜。すごく戸惑いました。しばらくはチェロを弾くどころか譜面とのにらめっこ状態が続きました。

あれから18年。それ程上達したとは言えませんが、若い団員さんに交じってモーツァルトやブラームスなど多くの作曲家の作品をどうにか弾いています。「老齢の域」に入った今も。



伊賀コミュニティオーケストラ

かわ かみ けい こ
川上 圭子
(チェロ)

国体頑張れ

女性活躍を牽引3連覇目指すくノ一

颯爽と笑顔で現れた2人は、女子サッカーなでしこリーグ一部、伊賀FCくノ一三重、杉田亜未、宮迫たまみ両選手。

くノ一は2018、2019年2年連続国体優勝。昨年はコロナで中止となり、46年ぶりの三重国体に強い想いで挑む。チーム単体で出場するのは三重と愛媛の2県のみ。

杉田選手は神奈川県出身。岡山の大学在学中なでしこJAPAN初選出。チーム一技術力が高く最も得点力のあるMF、チームに欠かせない存在だ。

一方、宮迫選手は鹿児島県出身、U-19日本代表選出の経歴を持つDFの要。ベテラン選手として、守備においてもなくてはならない存在だ。

「国体は地元の人達が盛り上げてくれるとても温かい大会。絶対勝とうというプレッシャーも大きい」と宮迫選手。

「3連覇を目指す。県のスポーツが盛り上がるよう貢献して行きたい。しっかりとゴールを決めたい。ここに掛ける想いは今までの大会より強い」と杉田選手。

国体とリーグ優勝、願わくば共に叶うことを祈る。アマチュアトップのなでしこリーグ。片やこの秋、プロの「WEリーグ」が開幕する。スタジアム整備等をクリアして伊賀の誇る「くノ一」が「夢や生き方の多様性にあふれ、一人一人が輝く社会の実現、発展に貢献する」というWEリーグ参入に向け突破口が開くよう願う。

女子サッカーの決勝は9月30日上野運動公園競技場だ。がんばれくノ一！
(文 広報事業委員 楠本 知子・写真 山口 貴史)



伊賀FCくノ一三重
杉田 亜未 選手 (左)
宮迫 たまみ 選手 (右)



好きな食べ物と休日の過ごし方。
杉田選手は「餃子・NETFLIXで韓流を観る」
宮迫選手は「クリーム系スイーツ・うなぎ・ヨガ・岩盤浴」

いつか
しますか

天神さんの夏―夏越の大祓―

かつて藤堂藩の祈願所であり、俳聖松尾芭蕉が初自撰俳諧発句集『貝おほひ』を奉納した上野天神宮(菅原神社)。天神さんの「夏越の大祓なごしのおおはらえ」について直井清宮司にお話を伺った。

「日本人は昔から穢れを祓うことをとても大事にしてきました。精神的な大掃除ともいえる年に二度の大祓、ちょうど一年の真ん中で行われるのが夏越の大祓です。」

川で自生する茅草で作られた直径2メートル程の茅の輪(ちのわ)が神職や菅原神社氏子青年会の人々の手で天神さんの境内に立てられる。大祓当日は直井宮司の祝詞奏上の後、前もって納められた紙の形代の入った唐櫃とともに氏子らが作法の通りに茅の輪をくぐる。参拝者は輪の正面で一礼、拾遺集の和歌「水無月の夏越の祓いする人は千年の命延ぶというなり」を唱えながら輪を三度くぐる。一年の前半をつつがなく過ごせたことに感謝し、半年の間に被った諸々の罪・過ちを疫病除けの呪力をもつ祭具の茅の輪に移し、祓い清める神事だ。

「たとえば知らぬ間に小さな虫を踏んでしまうことも罪のひとつ、己が生きたために命をいただくことも。作法をしっかりとこなすことは大切ですが、祓い清めて新鮮な気持ちで次の半年間を過ごそうと思う『気持ち』を大事にしてください」

天神さんの夏越の大祓は6月30日の午後3時から。マスク着用とソーシャルディスタンス厳守で、今年下半期の平安と世界の元氣回復を祈りたい。

(文 広報事業委員 今西佳)



「母の仕送り」

こんなご時世なので、自由に旅ができた頃を懐かしく思い出している人は多いと思う。僕も旅好きだから恋しい。それにしても、行き当たりばったりだった旅に限っていつまでも覚えているのはなぜだろう。どうでもいい旅くらい、自由を感じることはないのだ。

あれは高校三年生のゴールデンウィーク直前だった。下宿していた先輩から電話がかかってきたのでしゃべっていると、話の流れでその日のうちに会いに行くことに決まった。三重県から横浜まで鈍行の旅だ。適当旅行の極み。

翌朝早朝、横浜に着いたのだけれど、先輩の家に来てみたところで特別やることはない。大学生になりたての彼も僕もお金がなかったのだから、だから過ごすしかなかった。途中、先輩と同じ大学に通う三重県出身の学生たちとも仲良くなったものの、みんな似たような状況だった。

なのに、寝転んでいるだけで楽しかった。

そんなとき、先輩の部屋に故郷から宅配便が届いた。先輩本人のお母さんからではなく、なんと恋人のお母さんから(！)。中身もお客さん用らしく、ゴージャスで、松阪牛の大和煮缶詰や伊勢エビカレーのレトルトなんかが入っている。しばらく具なしの焼きめしばかり作って食べていた僕らには大感激も

伊藤たかみ

のだった。

ちなみに僕の「かたやき」初体験もこの仕送りがきっかけだ。少し遅めのデビューである。当時はシンプルなのが主流だったのか、すべてハードタイプだった記憶がある。おまけの木植も入っていなかったから、テーブルこたつの角にぶついたり、ひざ蹴りして割ったり、あれも楽しかった。なにより、あの素朴なかたやきのお

伊藤たかみの

たかみのええわさ



Vol.12

1971年生 上野高校出身、早大卒 小説家
「八月の路上に捨てる」(文藝春秋)で第135回芥川賞
「さぶそん」(ポプラ社、坪田譲治文学賞)など児童書も手がける。

いしかったこと。

そもそもは忍者の携帯食だったそうだし、旅先、ひもじい思いで口にしたのがよかったかもしれない。それとも、母親の仕送りが初体験だったからだろうか。よそのお母さんにせよ、仕送りというのはいいものだった。

さてその後、東京の大学生になった僕には、地方出身の友達何人かできた。一人暮らしの部屋へ遊びに行くと、実家から送られてきた仕送りの品をときどき見せてもらえた。

知多半島出身である友達仕送りに、手作りだというイチゴ砂糖煮の瓶詰めがたくさん詰まっていた。世の中にはおしゃれなお母さんがいるものと驚いた。新潟は亀田出身の彼のもとには、想像どおりせんべいと日本酒が届いていて笑った。ビニールに分けられた自家精米が緩衝材の代わりにたくさん入っていて、さすが新潟、とも。

ちなみに一人暮らしを始めた僕にも仕送りはきたが、記念すべき第一号は宅配便ではなく、現物の洗濯機だった。

あいかわらず行き当たりばったりの一人暮らしで、冷蔵庫も洗濯機もカーテンもない生活をしていた僕への戒めだったのだろう。お金を送ってもらっても、ほとんど本と映画に費やしていた時代の話だ。

あの洗濯機、ずいぶん使ったなあ。



BUNTO EVENT INFORMATION

新型コロナウイルスのさまざまな感染拡大防止対策を行います。安心してご来場ください。なお、今後の社会情勢を踏まえ、変更する場合があります。

ぶんとチャイルドクラシックプログラム —おなかのなかから小学生になるまで—

第一回

おなかのなかからクラシック

ママとおなかの赤ちゃんに贈る、初めてのコンサート
心地よい音楽で赤ちゃんと一緒にリラックス!

- 開催日時 6月12日(土)
開場10:00 開演10:30
- 会場 伊賀市文化会館
- 料金 無料
- 対象 妊娠中のお母さまと、大人の同伴者2名様まで
- 出演 吉岡克典(Vn)、吉岡麻梨(Pf)
- 申込受付 ☎22-0511で受付中

第一回

2歳になるまでのクラシック

「ハイハイ」「よちよち」期のおともだちといっしょに! 感性豊かなこの成長期にクラシックを聴きましょう。

- 開催日時 7月22日(木・祝)
開場13:00 開演13:30
- 会場 青山ホール
- 料金 大人500円・子ども100円
- 対象 0歳から1歳とその保護者
- 出演 山本かずみ(Vo)、新井宗平(Per)
- 発売日 6月26日(土)

第一回

わんぱくキッズのクラシック探検隊

元気いっぱいわんぱく期の子ども達は、好奇心旺盛! 音楽を聴くだけでなく、踊ったり、歌ったり♪ 体じゅうで探検しよう。

- 開催日時 7月31日(土)
開場10:30 開演11:00
- 会場 青山ホール
- 料金 大人500円・子ども100円
- 対象 2歳から年中児とその保護者
- 出演 大槻健太郎(Cb)、大槻奈実子(Fl)
- 発売日 6月26日(土)

なるほど〜クラシック

ロマン派音楽の楽しみ vol.3

〜ドヴォルザークの魅力に迫る〜



「クラシックのいろは2021」をわかりやすく鑑賞するための無料レクチャー!
この講座を受けると、より一層コンサートを楽しめること間違いなし!!

Vol.17 ドヴォルザークの魅力満載!

〜名曲中の名曲、「新世界」と「ドヴォン」〜

講師：鳥居明夫(伊賀コミュニティオーケストラ指揮者)

- 【日 時】 6月27日(日) 14:00〜
※1時間程度
- 【会 場】 伊賀市文化会館 多目的室
- 【料 金】 無料(事前申し込み不要)



TOUCH THE STEINWAY

憧れのスタインウェイが弾ける

- 青山ホール 7月11日(日)
- あやま文化センター 8月8日(日)

開催時間 各日10:00~17:00

□演奏時間 30分

□参加費 1枠500円 ※1枠2名様まで

・青山ホールは2台のピアノ同時演奏も可能

参加費 1枠(60分)2,000円 ※1枠4名様まで

□募集人数 各14枠 ※先着順とし、定員になり次第締切

□申込方法 6月19日(土)11:00から電話受付

●青山ホール ☎52-1109(水曜休館)

●あやま文化センター ☎43-1125(月曜休館)

※音楽教室のレッスンや発表会としての利用はできません。

※受付初日は1回のお電話で2枠まで(2台利用の場合は1枠のみ)の受付とします。

※楽器等の持込みはご遠慮ください。

伊賀市文化会館開館30周年記念事業

ぶんとキッズ・アカデミー

モノづくり等を楽しみながら様々な芸術に親しむ機会です。
この機会に、芸術の扉をひらいてみよう!!

- 日時 7月10日(土) ①10:00~11:30
②13:00~14:30
③15:00~16:30
- 会場 伊賀市文化会館 各部屋
- 料金 1講座1,000円
- 対象 小学生
- 定員 各10名
- 講師 伊藤尚美(水彩画家・テキスタイルデザイナー)
田楨奈緒(イラストレーター)
中野真里(染織作家)
河瀬有子(日本ローズウィンドウ協会認定講師)

詳しくはチラシをご確認ください。

キレイ♡アートフェスタ

6月20日(日)10:30~16:00

入場無料

※体験・販売等有料

[会場] 伊賀市文化会館



作家さんによる作品展示・販売はもちろん!

お子様でも体験できるものづくりワークショップ!

癒しあり!プレゼント抽選会あり

※出展ブースをスタンプラリーで3箇所まわって、1千円以上ご利用でご参加いただけます。

主催・お問合せ：キレイ♡アートフェスタ!事務局

竹島 ☎090-7315-9986

BUNTO ART EXHIBITION

新型コロナウイルスのさまざまな感染拡大防止対策を行います。安心してご来場ください。なお、今後の社会情勢を踏まえ、変更する場合があります。

6.11 (金)

▼
6.20 (日)10:00~18:00
最終日は15:00迄

AKAIKE ART GALLERY 2021

現代工芸美術家協会 近畿会有志による
それぞれの象(かたち)展II

こころ豊かな生活の潤いを求めた美しい創作品の数々は、作家たちそれぞれの想いが「象(かたち)」としてここに表現される—。

会 場 赤井家住宅 (伊賀市上野忍町2491-1)

入場料 無 料 ※作品の販売等は有料

出 展 賛助出品 桑原紀子(陶磁) 田中紀子(織)
芦田直美(染) 河崎晴生(織) 平井恵子(織) 川本ちる子(陶磁)
谷 信男(陶磁) 舟越一生(漆) 中島健太郎(金属) 松本由紀子(七宝)



5.28 (金)

▼
6.13 (日)10:00~19:00
最終日は16:30迄
火曜日休館

昼馬和代陶展×史跡旧崇広堂／伊賀

一流れゆく風景— 風・地・水・刻

地球や生物の命、止まることのないリズムの不思議、感動が、発想の原点となる「風・地・水・刻」をテーマに制作した昼馬和代の作品が並ぶ。

会 場 史跡旧崇広堂 (伊賀市上野丸之内78-1)

入場料 無 料 ※作品の販売等は有料

出 展 昼馬和代 (陶芸家)

■アーティストギャラリートーク 6/6 [日] 13:30~ [料 金] 入場無料 [定 員] 20名予約制

■昼馬和代の「茶碗」で愉しむ呈茶会 6/5 [土] ①10:00~②11:00~③13:30~④14:30~ [定 員] 各回6名

[料 金] 400円(お抹茶、上生菓子付き) [予約お申込] ☎22-0511で受付



6.18 (金)

▼
6.27 (日)10:00~19:00
最終日は16:30迄
火曜日休館

倉貫 徹×谷本 貴二人展

石と陶 - ISHI TO TOU -

中国の古代陶器や日本の縄文土器に代表される人類の発明した最初の文明の象徴である「石と陶」。これらを使ってアートの根源、本質を提示する新たなコラボ作品を展示。石と陶の響き合う新しい世界、新しい表現を目指す。

会 場 史跡旧崇広堂 (伊賀市上野丸之内78-1)

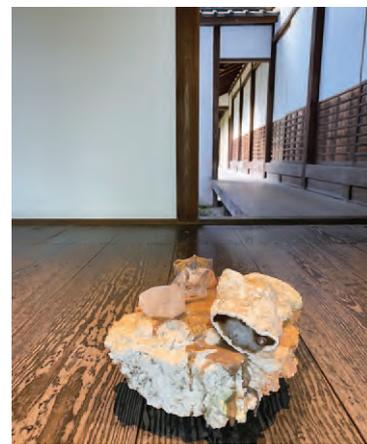
入場料 無 料 ※作品の販売等は有料

出 展 倉貫 徹 (造形美術家)、谷本 貴 (陶芸家)

■アーティストギャラリートーク

6/20 [日] 13:30~ [料 金] 入場無料

[定 員] 20名予約制 [予約お申込] ☎22-0511で受付



7.10 (土)

▼
7.25 (日)10:00~18:00
最終日は16:00迄
火曜日休館

生活工芸展 in 旧崇広堂

日本で受け継がれてきた工芸を生活の一部とし、「作家が自身の生活を見つめ、感じ、考え、生み出される物(器やオブジェ)」をコンセプトに、全国各地の作家64名による陶芸や木工工芸ほか数百点の作品が集結!!

会 場 史跡旧崇広堂 (伊賀市上野丸之内78-1)

入場料 無 料 ※作品の販売等は有料

出 展 全国の工芸作家64名

共 催 gallery yamahon 山本忠臣



男たちのピアノ教室 参加者募集!!

ピアノ初心者や昔(以前)にピアノを弾いたことがあり今現在ブランクはあるが、またピアノをやってみたい。これまで教室に行く機会が無かったなどなど…ピアノに興味がある男性の方に限定し参加者を募集します!!

◀募集要項▶

- 【募集対象】 ①18歳以上の男性限定
 ②ピアノ初心者・未経験者大歓迎
 ③以前からピアノに興味がある方
 ④演奏したい曲のジャンルは問いません
 ⑤やる気をもって参加できる方

【クラス】 木曜クラス5名・金曜クラス5名

【募集人数】 先着10名(各クラス5名)

【レッスン期間】

- 木曜クラス=9/9・16・30、10/7・14・28
 11/4・11・18・25、12/2・16
 金曜クラス=9/10・17、10/1・8・15・29
 11/5・12・19・26、12/3・17

【発表公演】 12月18日(土) 14時開演予定

【場所】 伊賀市文化会館 ホワイエ・リハーサル室

【参加費】 12,000円(発表公演を含む全13回)



【レッスン時間】 ※マンツーマンレッスンです。

- 17:50 ~ 18:20(30分) ■18:30 ~ 19:00(30分)
 ■19:10 ~ 19:40(30分) ■19:50 ~ 20:20(30分)
 ■20:30 ~ 21:00(30分)

(注)お一人様につき1枠(1クラス・1日30分レッスン)の先着申込みとなります。

【募集期間】

7月3日(土)10:00 ~ 7月31日(土)17:00

【講師】 桂 富佐

【申込方法】 ☎22-0511 で先着順にて受付します。

※1回のお電話で1名様のお申込みとします。

事前体験レッスン受講無料

【日時】 6月25日(金) 19:00 ~ 20:00

【場所】 伊賀市文化会館 ホワイエ

【募集人数】 先着20名

【募集期間】 6月13日(日)10:00 ~ 6月24日(木)17:00

【申込方法】 ☎22-0511 で先着順にて受付します。

ノルディックウォーキングを体験してみよう! Vol.23

ノルディックウォーキングは2本のポールを使って歩く、北欧生まれの新しいウォーキングエクササイズです。

特徴①腰・ひざへの負担が少なく、長時間の歩行もラクラク!

特徴②全身の90%の筋肉を使うため、ダイエットやボディリメイクに効果的!

特徴③シニアの方のリハビリ、介護予防にも最適!

■日時 7月7日(水)
 10:30 ~ 12:00
 (受付10:00 ~)

■会場 しらさぎ運動公園周辺
 (伊賀市下友生)
 ※雨天時は多目的グラウンド

■参加費 200円(傷害保険料含む)
 ※用具の貸出は無料

■定員 50名
 ※先着順とし、定員になり次第締切

■申込 6月16日(水)10:00から☎24-1184で申込受付



公益財団法人伊賀市文化都市協会のロゴマーク募集

当協会の活動内容を広く周知し、多くの皆さまに親しまれ支えていただくために、今回、当協会のシンボルマークを募集します。

○募集内容

公益財団法人伊賀市文化都市協会を象徴するシンボルマーク(図)を募集します。

○応募要件

- (1)地域の文化、芸術、スポーツ等を振興する協会として、地元の多くの皆さまに、親しみやすく、愛着をもっていただけるシンボルマークであること。
- (2)シンボルマークとして継続的に使用できること。
- (3)応募作品は、未発表のオリジナル作品であり、第三者の著作権・商標権、その他の権利を侵害しないこと。

○募集期間

令和3年6月14日(月) ~ 令和3年8月20日(金)

○賞品

賞金10万円、伊賀米、伊賀牛等

その他、応募方法等の詳細についてはホームページをご覧ください。

ぶんと職員募集

令和3年10月1日採用の職員を募集します。

文化芸術の振興や伝統文化の継承、事業の企画、公共施設の運営管理等に関する業務に経験がある方、携わることに興味のある方の応募をお待ちしています。

【採用職種】 期限付職員(正規職員への登用あり)

【予定人数】 1名程度

【応募要項】 ホームページへの掲載、伊賀市文化会館、青山ホール、あやま文化センターで配付

【応募要件】 大学卒業者で同一企業等における実務経験を5年以上有する方

【試験日程】 第1次試験 令和3年7月31日(土)
 能力検査(基礎能力・事務能力)及び適性検査
 第2次試験 令和3年8月21日(土)
 第1試験合格者対象の個別面接

【試験会場】 産学官連携地域産業創造センター「ゆめテクノ伊賀」テクノホール

【受付期間】 令和3年7月16日(金)午後6時まで(厳守)

■応募先・問い合わせ 事務局 総務課 ☎22-0511 ホームページ <http://www.bunto.com>



編集後記

「戦場のピアニスト」という映画がある。舞台は第二次世界大戦中のポーランド。敵対関係にあるユダヤ人ピアニストとドイツ人陸軍将校が、ショパンの名曲を通じて秘かに心を通わせる物語だ。終幕に流れるピアノ曲「大ポロネーズ」は、戦時下にこそ音楽が人間性のよりどころとなることを静かに訴えてくる。コロナ禍によって人類は新たな「戦時下」に置かれているが、こうした時代にこそ文化・芸術が人間を力強く支えるという事実は揺るがない。さて、今日は庭の初咲きの額紫陽花を切って大鉢に浮かべてみようかな——。(広報事業委員 池澤基善)

BUNTO TICKET

新型コロナウイルスのさまざまな感染拡大防止対策を行います。安心してご来場ください。なお、今後の社会情勢を踏まえ、変更する場合があります。

7月4日 (日) 開場 13:15
開演 14:00

クラシックのいろは 2021
ドヴォルザークに執心! vol.1
郷愁の響き ~新星チェリスト 水野優也を迎えて~

■会場 **伊賀市文化会館**

料金 **自由** **発売中**
 各回単発券 自由席 一般 1,500円
 SaMaZaMa Club会員 1,300円
 高校生以下 500円
 ペアチケット (2枚) 2,400円
 ※指定席完売



チェロ 水野 優也
指揮 寺岡 清高

管弦楽：大阪交響楽団

7月22日 (木・祝) 開場 13:00
開演 13:30

ぶんとチャイルドクラシックプログラム
第一回 2歳になるまでのクラシック
出演者 山本かずみ (うた)
新井宗平 (ドラム)

■会場 **青山ホール**

料金 **自由** **6/26(土)~発売**
 大人 500円
 子ども 100円



うた 山本かずみ

7月24日 (土) 開場 13:30
開演 14:00

bimonthly Concert Vol.26
暑中お見舞い申し上げます。
~ドヴォルザークと巡るふるさとの調べ~
出演者 山路真里奈 (ソプラノ)
岩田優里愛 (ヴァイオリン)
増田純奈 (ピアノ)

■会場 **伊賀市文化会館**

料金 **自由** **発売中** 一般 500円



ソプラノ 山路真里奈



ヴァイオリン 岩田優里愛



ピアノ 増田 純奈

7月31日 (土) 開場 10:30
開演 11:00

ぶんとチャイルドクラシックプログラム
第一回 わんぱくキッズのクラシック探検隊
出演者 大槻健太郎 (コントラバス)
大槻奈実子 (フルート)

■会場 **青山ホール**

料金 **自由** **6/26(土)~発売**
 大人 500円
 子ども 100円



コントラバス 大槻健太郎



フルート 大槻奈実子

9月26日 (日) 開場 13:30
開演 14:00

bimonthly Concert Vol.27
サクソフォン四重奏で魅せる
ドヴォルザークの世界
出演者 中桃子 (テナーサクソフォン)
上馬場啓介 (ソプラノサクソフォン)
森下夕貴 (アルトサクソフォン)
小西稔大 (バリトンサクソフォン)

■会場 **伊賀市文化会館**

料金 **自由** **7/24(土)~発売** 一般 500円



テナーサクソフォン 中 桃子



ソプラノサクソフォン 上馬場啓介



アルトサクソフォン 森下 夕貴



バリトンサクソフォン 小西 稔大

伊賀市文化会館開館30周年 & 伊賀市文化都市協会設立30周年



文化は「ココロ」に響きます
文化は「ココロ」を繋ぎます
「ココロ」はぶんとが創ります

ホールこれから情報

校正時点での情報です。催しについては、それぞれの催しの主催者へお問い合わせください。

伊賀市文化会館			
日付	催物名	入場料	主催/問合せ先
6月12日 (土) 10:30~	ぶんとチャイルドクラシックプログラム 第一回 おなかのなかからクラシック	無 料 要予約	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 (伊賀市文化会館)
6月26日 (土) 13:30~	三重とこわか国体開催100日前記念 伊賀市とこわかダンスコンテスト~未来に響け~	入場無料 ※事前申込必要	三重とこわか国体伊賀市実行委員会 ☎43-9100 (伊賀市役所国体推進課)
7月4日 (土) 14:00~	Classicのいろは2021 Vol.1 郷愁の響き ~新星チェリスト水野優也を迎えて~	自由席一般 1,500円 会員 1,300円 高校生以下 500円 ペアチケット 2,400円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 (伊賀市文化会館)
7月10日 (土) 10:00~17:00	キッズ・アカデミー	各1,000円 要予約	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 (伊賀市文化会館)
7月24日 (土) 14:00~	bimonthly Concert Vol.26 暑中お見舞い申し上げます。~ドヴォルザークと巡るふるさとの調べ~	500円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 (伊賀市文化会館)
7月31日 (土) 13:30~	いきいき未来いが2021	無 料	伊賀市男女共同参画ネットワーク会議-伊賀市 ☎22-9632 (人権政策課 男女共同参画係)

青山ホール			
日付	催物名	入場料	主催/問合せ先
7月3日 (土) 1部13:00~ 2部14:40~	池間哲郎さん&中村文昭さん講演会 in伊賀(青山)	3000円 (中学生以上)	チームhappy forever ☎52-0029
7月10日 (土) 13:00~	福祉大会	無 料	青山老人クラブ連合会 会長 桜井 孝 ☎090-2776-8375
7月11日 (日) 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	参加費500円 (要予約)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎52-1109 (青山ホール)
7月22日 (木・祝) 13:30~	ぶんとチャイルドクラシックプログラム 第一回 2歳になるまでのクラシック	大人 500円 子ども100円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
7月25日 (日) 13:00~	ピアノ発表会	無 料	塚下由美子 ☎68-3466
7月31日 (土) 11:00~	ぶんとチャイルドクラシックプログラム 第一回 わんぱくキッズのクラシック探検隊	大人 500円 子ども100円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511

あやま文化センター			
日付	催物名	入場料	主催/問合せ先
6月13日 (日) 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	参加費500円 (要予約)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎43-1125 (あやま文化センター)
6月20日 (日) 13:00~	ポーコ・ア・ポーコ・コンサート	無 料	渡邊美和 ☎090-7670-8823
7月10日 (日) 13:30予定	Soave ピアノフェスティバル2021	無 料	榎さわ楽器 ☎23-8080 (湊)

(お問い合わせ)

(公財)伊賀市文化都市協会 ☎0595(22)0511 Fax0595(22)0512 <http://www.bunto.com>
 伊賀市文化会館 ☎0595(24)7015
 青山ホール ☎0595(52)1109
 あやま文化センター ☎0595(43)1125

次回の発行は8月1日号になります。